

まつもと子ども留学基金 ニュースレター



願いをこめてVV



第3号
2015年1月

手探りの1学期、
成長の2学期が終わり、
3学期を迎えました。
今年もどうぞよろしく
お願いいたします。

おかげさまで新年を迎えることができました。

2014年4月、福島の子元を離れて松本市四賀へ引越してきた子どもたち。

皆さまからの温かいご支援をいただき、1学期、2学期を終え、新年を迎えました。今年もどうぞよろしく願っています。

2学期が始まって間もないある日、松本へ来られた寮生のお母さんとこんな話をしました。

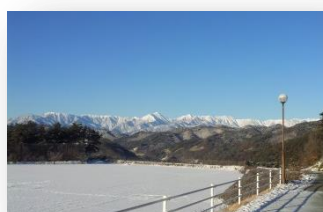
週末に松本へ来て子どもと過ごしていたのだが、学校から帰ってきても福島にいたときのように「疲れたあ」と言わなくなったということです。

寮で生活している部分だけを見ているとわからないのですが、放射能の心配がないこの四賀で生活することで、身体で実感できるほど良い影響が出ているのだろうということです。

お母さん自身も、「草取りをしても福島で感じるような肌がピリピリする感じがなかった。」と、とても嬉しそうに話してくれました。

松本では、放射能の影響を考えずに、日々の生活を送ることが出来ます。この四賀での生活だけを見ているとなかなかわかりにくいけれど、子どもたちの健康にとって確かに良い影響を与えているのだと、再認識できたお母さんとの会話でした。
(報告：根岸)

今年も一日一日を大切に、充実した日々を子どもたちと送っていきます。



五常の寮
今年は特別寒い冬が
やってきました。

フォトギャラリー *夏~秋*

<ちばてつやさん 漫画教室>



7月12日(土)、ちばてつやさんの漫画教室を、四賀支所にて開催しました。地域の小学生、また、震災以降松本市へ避難している子どもたちにも参加してもらいました。

日本の文化には、昔から文字にも絵と同じようなものがあったと言います。

“笑” “楽” というのは、明るい顔のような感じですよ。
逆に “苦” という字は、やっぱり苦しそうな顔ですよ。



漫画を描く上で必要な道具の紹介や、漫画や絵の描き方を、実際にペンを握って教えてくれました。

子どもやおじいさん、おばあさんの描き方の違いを、顔や全身など細部にわたってアドバイスしていただきました。

「目を描くのが難しい。」 「横顔が難しい。どうすればうまく描けますか？」
といった子どもたちからの質問に対しても、ちばさんのエピソードを踏まえながら、楽しく教えてくれました。



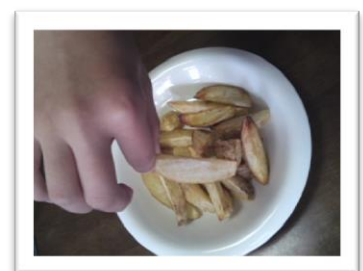
「漫画が上手に描けるだけじゃ漫画家にはなれないよ。みんなが好きなマンガの作者の方もみんな本をたくさん読んでいるよ。だから、昔の名作といわれたアンデルセンといった物語や小説、エッセイなど、たくさんの本を読むといいよ。」

子どもたちは、ちばさんのお話に夢中になって聞き入っていました。

「今、心配なことはたくさんあるけれど、日本はとても素晴らしい国。木がたくさんあって、きれいな川が流れている。私は日本が戦争していた時代を知っているけれど、今はとても平和。日本の素晴らしい技術・文明・自然と、平和を守って、つないでいてほしい。」と、ちばさんから子どもたちへ、そんなメッセージもいただきました。

(この事業は、「アクト・ビヨンド・トラスト」の助成を受けて実施しました。)

<畑で採れた野菜たち>



<保養キャンプ：8月3日～8日>



四賀のかくれた名所・化石採集

採集した化石は化石館の館長さんが鑑定してくれます。魚のうろこ、草、有孔虫などが見られます。



「早くスイカ食べたい〜」

<秋のキャンプ in 大鹿村>



愛の告白を叫ぶ

中央アルプスに向かって深呼吸〜



初めての寝袋体験



<心とからだを温める健康講座：11月29日・30日>

11月29・30日には「教育・芸術・医療でつなぐ会」の方をお招きして、体調が悪い時に自分でできる手当てを教えてくださいました。

まずは、足湯。その時の気分や体調に合わせてアロマオイルを入れて20分ほど。足をバスタオルなどですっぽりくります。

目覚めが悪い時にも効果があるそうです。のどが痛いときはレモンのスライスガーゼのハンカチなどにくるんでのどに当てて、ウールのマフラーをゆったりと巻くと楽になるそうです。

また、ひとりずつ1時間程度のマッサージをしていただきました。みんな、リラックスできたかな？

信州の冬は寒いけれど免疫力をあげて、風邪をひかないで乗り切ろうね!!

ハーブの香りに包まれてホカホカになりました。



タオルの中で寮長が鼻づまりを解消しています。お湯を入れたカップにユーカリオイルをたらして、湯気を吸入します。

また、いつもお世話になっている地域の皆さまもお招きしてマッサージを体験していただきました。喜んでいただけて良かったです。

(この講座は「長野県 地域発 元気づくり支援金」の助成をいただき、実施しました。)



特定非営利活動法人
まつもと子ども留学基金

事務所：

〒390-0861

長野県松本市蟻ヶ崎 1-3-7

(安藤法律事務所内)

TEL:080-4716-2011

FAX:0263-39-0700

MAIL : matsumoto.relief@gmail.com

<http://www.kodomoryugaku-matsumoto.net/>

「まつもと子ども留学」プロジェクトは、留学する子どもたちの負担をできるだけ少なくするため、2000万円近い運営費用(人件費・寮の維持費など)の大半は皆さまからの支援でまかなわれます。

一人でも多くの子どもたちの命と夢を育むために、どうぞ皆さまのご理解と会費・寄付のご協力を心よりお願い申し上げます。

インターネットからクレジットカードによるご寄付「CANPAN 決済サービス」がスタートしました。
継続寄付(毎月/毎年)、随時寄付のどちらも可能です。

【毎月サポート】

月々1口5,000円から、ご希望の口数をお選びください

CANPAN 決済サービス

<http://goo.gl/zHXhLC>

【毎年サポート】

毎年1口50,000円から、ご希望の口数をお選びください

CANPAN 決済サービス

<http://goo.gl/77oNml>

【随時サポート】

1回ごとに1口5,000円から、ご希望の口数をお選びください

CANPAN 決済サービス

<http://goo.gl/WkNFcl>

詳しくは、こちらからもご覧ください。



編集後記 (スタッフより)

◆これまでに、数多くの個人そして団体の皆さまからご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。

また、地域の方々からは、新米、白菜、じゃがいも、人参、レタス、りんご、手作りにんごジュースなど、たくさんの季節の野菜や果物をいただき、本当に助けられています。おかげさまで、毎日旬の味を堪能することができています。

皆様に支えられて、子どもたちは伸び伸びと生活することができ、感謝の気持ちで一杯です。

4月の入寮から考えると、子どもたちは本当に成長しました。気持ちよく共同生活をするための術を学び、お互いに尊重し合いながら、楽しく生活しています。

これからもよろしくお願ひいたします。(N)

◆皆様のあたたかいご支援、いつも本当にありがとうございます。

おかげさまで子どもたちは無事に二学期を終業できました。どの子ども家族と離ればなれの生活に慣れ、たくましく成長しています。

そんな子どもたちの日々の暮らしの様子は、ブログでもご覧いただけます。『まつもと子ども留学の日々』でぜひ検索なさってください。

(K)

まつもと子ども留学とは・・・

2011年3月の東日本大震災は、それまでの私たちの暮らしと認識を一変させました。

4年近い歳月を経た今も不透明な状況は続き、育ち盛りの子どもたちが制約の多い暮らしを余儀なくされていることに、危惧を抱かざるを得ません。

NPO法人「まつもと子ども留学基金」は、被災地の子どもたちが環境の良い土地で安心して生活し、遊び勉強する場所づくりを実現

できないかと模索し、信州松本の地で留学プロジェクトを立ち上げました。皆さまの応援をどうぞよろしくお願ひいたします。

こちらからもお振込み、ご送金できます。

郵便振替

口座番号

00590-5-101451

まつもと子ども留学基金

ゆうちょ口座間の送金の場合

記号 00590-5

番号 101451

まつもと子ども留学基金

振込の場合(みずほ)

みずほ銀行 松本支店

普通預金

口座番号 1265273

まつもと子ども留学基金

振込の場合(ゆうちょ)

ゆうちょ銀行 ○五九店

当座預金

口座番号 0101451

まつもと子ども留学基金